

清湖市立

图書館



多摩地域各市に図書館が開館した中、昭和49年8月清瀬市に市立中央図書館が開館しました。開館当時の建物はずっと半世紀もの間変わらぬ姿で、図書館利用客を迎え入れてきました。構内を囲んでいる桜、サザンカなどの木がずいぶん大きくなったせいか、心なしか建物も小さくなったように感じます。さて、50年前の昭和49年はどんな年だったのでしょうか?当時の出来事をご紹介しましょう。

モナ・リザ展開催(1974年4月)

上野の東京国立博物館に、イタリアの美術家レオナルド・ダ・ヴィンチが描いた油彩画「モナ・リザ」が来日。入場者数は150万人を記録しました。



日本人で唯一の平和賞 佐藤栄作

(1974年12月)

佐藤栄作(さとう・えいさく)元総理大臣が日本人で唯一、ノーベル平和賞を受賞。

「核を持たず、作らず、持ち込ませず」という非核三原則を宣言した佐藤・元総理大臣は、アメリカなど5か国以外の核兵器保有を禁止するNPT=核拡散防止条約に1970年に署名したことなどが理由に挙げられました。





当時のベストセラーランキング

昭和47年 恍惚の人(有吉佐和子)

昭和48年 日本沈没 上•下(小松左京)

昭和49年 かもめのジョナサン (リチャード・バック)

昭和50年 播磨灘物語(司馬遼太郎)

昭和51年 限りなく透明に近いブルー(村上龍)

※上記図書はすべて清瀬市内の図書館に所蔵しています。

Jeens Joy

10代のみなさんへのおすすめ図書リスト



No.57 2024.10

清瀬市立図書館

伝統と文化から世界が見える! イギリスを知る教科書

君塚 直隆/監修 ナツメ社



皆さんは「イギリス」と聞いてなにを思い 浮かべますか?紅茶やハリー・ポッター、 エリザベス女王など様々なイメージがある かもしれませんね。

この本はそんなイギリスの「有名どころ」はもちろん、文化や歴史、言語、民話など多角的な面からイギリスという国を紹介しています。教科書で学んだものから、中には「これもイギリス発祥だったの!?」と驚くようなものまで。難しい政治や経済の話も、写真やイラスト付きでわかりやすく解説され、コラムとして日本との違いや関わりも書いてあるので、思わぬ繋がりが発見できます。

ぜひ自分の好きな分野からイギリスという国に触れてみてください。

〈下宿図書館 菅〉

多くの人が、いずれ何らかのかたちで働くことにかかわるもの。中には高校生になってアルバイトを始める人も多いと思います。

でも、ちょっと待って!労働法はわかってる?「何となく知ってはいるけど、きちんと調べたことはない」「複雑だし堅苦しくてよく分からないよ」社会人も実は意外とあやふやだったり!?

本書は若い世代に向けて絶対にこれだけは知っておきたい「ワークルールの超きほん」をフルカラー・一つのルールにつき見開き一ページで優しく解説。最初の「超きほん」編は特に普遍的な内容で一生使えるワークルール。

働き始める前にこれだけは知っておこう!

〈中央図書館 佐川〉

働きはじめる前に知っておきたいワークルールの超きほん

佐々木 亮/監修 旬報社



"初めに"の冒頭で心に元気が欲しいみんなへ・・・と始まっているように、やる気と元気がわいてくるような【コツ】が詰まってる1冊になっていると思います。

何かがうまくいかなかったとき、「失敗」 なんてない。うまくいかないのがわかった だけ。との発想の転換を促してくれてるの も素敵ですね。

題名を見ると、ちょっと堅い話かな?と 思われがちですが、筆者がたくさんの人 に読んでもらいたいと10歳の人でも読め るように分かりやすい漢字とふりがなで 綴ってくれているので、とても読みやすく なっていますよ。

〈駅前図書館 鈴木〉

12歳から始める 心が折れない技術

石田 光規/著 講談社



優等生サバイバル青春を生き抜く13の法則

ファン ヨンミ/著 評論社



勉強、恋愛、趣味……悩ましいことばかりですよね。主人公は、超がつくほどの進学校にトップで入学したジュノ。成績が落ちると自習室から追い出されてしまう(!)シビアな世界に、不安でいっぱいです。そんな「優等生」の彼ですが、勉強だけしているわけにもいきません。元アイドル練習生ハリムからの突然のアプローチ、親友・ゴヌとの微妙な関係、新たな出会い…・・・・考えることがたくさん!ジュノはそんな生活の中で、うまく生き抜くための「法則」を少しずつ見つけていきます。

考えることの多さに目が回りそうなとき、一休みしてこの本を読んでみませんか。 ちなみに、おとなり韓国の小説ですので、K-POP好きな人には、韓国の学生生活が垣間見えるところもオススメですよ。 〈中央図書館 小野〉